



初代
大島 精一郎 氏

自転車組み立ての修行で、東京に出たのち帰郷し、大島農機入社。後に高田市議員、議会議長を歴任、大島農機株式会社 第三代社長。大島農機の自転車部門を独立させ、大島自転車商会を設立。1978年逝去(81歳)。



2代
大島 精次 氏

大学卒業後、2年間大島農機に勤務。後、大島自転車商会第2代社長に就任。現大島グループの始まりとなる。1984年上越ケーブルビジョンを創業。2014年「前島賞」受賞。2019年逝去(83歳)。

大島農機(創業1917年/大正6年)
(1910年頃撮影)



苦しみぬいた末の「新しい物語り」のスタート =井手塾=

井手塾は全国でも有数な学習塾として名をはせた時代から、少子化、個人塾・フランチャイズ塾の乱立時代を経験し、厳しい経営の時代を何年も過ごしてきた。そして今、苦難の末に「新しい物語り」を描き始めた。

井手塾では今年4月に浄興寺大門通りスクエアに就労継続支援B型作業所を開所し、9月には久遠チョコレート店舗をOPENする。久遠チョコレート開業は唐突に生まれた発想ではなく、ここまでに至る「新しい物語り」の結果である。

井手塾は1997年 故井手信久先生から大島が事業を引き継いだ。当時は塾全盛期であり1クラス50名近い生徒での授業が成立し、生徒も競うように勉強していた。しかし次第に生徒の様子に変化が生まれ、集団指導が成立せず、クラスを少人数にしても席を立ったり騒いだりする生徒が現れてきた。発達障害が社会問題化する以前の事である。

その頃に「発達障害の問題を解決するために新しい事業を立ち上げたい」と提案してきた社員がいる。現井手塾こども未来事業部長 山崎美百合さんである。従来の塾運営に手詰まり感を感じていた私はこの「妄想」に一条の光を見た。発達障害に関する知識が全くない井手塾がこの事業を本当にやり遂げることが出来るか不安が先行した。しかし山崎さんの熱意と横田専務のリーダーシップのもと事業化に向けて一心不乱に行動し続けた。不思議な事に本気で行動すると道が開けてくる。上越教育大学 村中智彦教授のご指導のもと 2015年 遂に「井手塾 放課後等デイサービス また明日」を立ち上げる。「また明日を利用する児童・生徒が 将来納税者となって社会に貢献する姿の実現」が目標。この信念が多くのご利用者様の支持を受け、今年の4月には7教室目の開校を迎える。

事業を展開していくと新たな課題が見えてくる。理想とはかけ離れ、高校を卒業しても進学・就職がかなわない生徒が複数いる。そこで2023年4月、こども未来事業部は自立訓練・就労移行支援を行う4年間通学可能な「また明日カレッジ」を開校し、生徒の自立生活と就労の実現に向けて事業を開始した。「また明日カレッジ」もご利用者様の支持を受け、本年4月には2校目を開校予定である。

もうお気づきだと思う。「久遠チョコレート」は生徒が選ぶ職場のひとつとして井手塾自らが事業を創り出したのだ。横田専務は「障害のある人でも、職業選択ができる社会を創りたい」と新たな「妄想」を熱く語り 久遠チョコレートに続く魅力ある職場開発に向けて全国を飛廻る。今度はどんな職場を創造し、どんな事業を展開するのか。井手塾の「新しい物語り」はまだまだ続く。正に乞うご期待である。

まずは「妄想」を言葉にしよう

多賀茶焙煎所所長の栗田さんは「海外にお店を出したい」と語る。生活情報新聞社の長原社長は情報誌「まるごと」で新潟県内を制覇したいと語る。大島自動車販売の庄山社長は、将来自分の子どもが上越で働きたいと思うような大島グループに育てたいと語る。私は「浄興寺大門通りスクエア」を平日の昼間でも人々で賑わうエリアに育てたい。

今はまだ目的地までの道のりは見通せなくても 「あなたの妄想」を「あなたの言葉」で熱く語り続けよう。やがてあなたの脳みそが「鮮やかな物語り」を創り出していく。

代表 大島 誠

「その人」は真のリーダーか？

2020年1月16日 国内で新型コロナの初感染が報告されて3年4ヶ月、2023年5月8日 ようやく感染症の5類に分類され、日本におけるコロナ禍騒動は一応終息した。新型コロナへの過剰とも言える慎重さとアフターコロナへの対策の遅さが、経済へのダメージを一層大きくしたことは否めない。リーダーの責任は大きい。

災害や不景気は弱者を更に弱くする。コロナ禍によって地方や中小企業の衰退は人材不足・後継者不在と相まって一気に加速した感がある。チャールズ・ダーウィンが唱えた進化論よろしく、今正に弱いものが生き延びる唯一の方法は「迷わず果敢に変化する事」である。



大島グループ
代表 大島 誠

生き残りをかけた変化は厳しい。強引でも自らの価値観を変え、苦しさには耐えなければならない。新たな環境で再び繁栄を迎える可能性にシフトする。

大島グループも経済社会においては弱者である。弱者が生き延びる為には苦しくても辛くても自分に厳しい選択が必要である。真のリーダーは「変化」の決断をし、内外からの圧力に耐え、組織の先頭に立って改革を押し進める。優柔不断や優しさは無責任の裏返し。

あなたにとって「その人」は、真のリーダーか？

あなたにとって「あなた自身」は、真のリーダーか？

「妄想」が変化の原動力

人間の脳の機能は曖昧で 鮮やかな妄想と現実の区別が出来ない。変化に向けて鮮やかな妄想が描けると、人間の脳は妄想を現実化する様に無意識に動き出す。個人の人生においてもビジネスにおいても、「妄想」すなわち「物語を創造する力」が変化の原動力となる。

大島グループ 2024年の行動指針

経営の基本方針

- 1 収益性と社会性が両立する経営を実践する **バランスのとれた経営**
- 2 個性的で強靱な独創的市場を開拓する **独創的な経営**
- 3 進取性と堅実性を兼ね備えた地方発の異業種企業集団へと成長する **躍動する経営**

大島グループが目指す企業の姿

- 1 働く喜び・生きる喜び・成長する**喜びを実感できる企業**を目指す
- 2 社員と家族の**生活の向上**と心身の**健康を増進させる企業**を目指す
- 3 地域を愛し、地域に愛され、**地域の誇りとなる企業**を目指す

中期行動テーマ(2023年から2025年)

- ◆ グループ内企業の事業分野を検証し、合併や廃業、既存事業の統合や廃止、新規事業の立上げ、資本の整理を大胆に行う。
- ◆ 地域の人口減少や経済的衰退に影響されないよう外国と日本首都圏と上越の価格差を正しく把握し、「外貨獲得」の仕組みを創り上げる。
- ◆ 地域の人口減少や経済的衰退を逆手にとったビジネスも模索する。
- ◆ 企業活力研究会の目的を、「各社の業績向上、次世代経営層の育成、社内環境整備にある」と意識し、近い将来確実に訪れる世代交代を想定した役員・中堅社員の研修の場とする。

今年のメインテーマ

- ◆ 引き続きハラスメントの無い働きやすい職場創りを目指すとともに、指導とハラスメントの違いを理解し、臆する事無く指示指導し また素直に学ぶ職場環境を皆で創る。
- ◆ 堅実な利益確保と挑戦的新規事業の両立をする。
- ◆ 現状の営業不振は新型コロナ感染症の直接の影響ではなく、本来内在していた「不振要素」が急速に表面化した結果であると認識すること。そして自社の「不振要素」を「成長要素」に転換すべく行動する。
 - ・若手および女性人材の登用・外部人材の起用による世代交代とリーダーの活性化
 - ・事業分野の見直し 個性的で独創的な市場の開拓
 - ・敢えて少数精鋭化とDXによる付加価値の最大化
 - ・グループイメージ、企業イメージ向上戦略による「意識の高い人材」の採用
- ◆ 総ての法人において「外貨獲得」の方法を見極め、行動を開始する。
- ◆ 「浄興寺大門通りスクエア」の開発に大島グループの衆知を集める。また、積極的に外部の知恵も導入して、質の高い収益性のある誰もがワクワクする事業を推進する。
- ◆ 外部機関を上手に利用する。中小機構・知財支援総合窓口・東北経済連合会・行政等の力を積極的に利用すると共に、補助金や公募事業にアンテナを張り果敢に挑戦する。
- ◇ 「新NISA」などの仕組みを学び 自分の人生設計を考える姿勢を育てる。

「ターゲット5」の実現に向けて

- 1 精度の高い事業計画を立案し、実行・検証・行動の修正を経て事業目標を達成する
- 2 **キャッシュフローの健全化**が経営の根幹であることを共通認識する
資金計画・返済計画を毎年更新する
- 3 事業計画立案に際しては「ターゲット5」の達成を目指す

経常利益率	5%以上
株主配当率	5%以上
社内の事業や慣例を取りやめる	5つ以上
- 4 月次の試算表を社内で作成し、**翌月第5営業日まで**に社長および本部に報告する
- 5 **毎月経営会議(役員会)**を開催し、事業目標達成に向けて絶えず行動改善を行う

全員研修について

- 1 心と身体の健康な生活についての研修
- 2 ハラスメントに関する研修
- 3 発達障害に関する研修
- 4 お金と人生設計に関する研修

あなたが豊かでワクワクする人生を送るために (還暦を過ぎて今感じていること)

1 目標を立てる

趣味でも健康でも生活習慣でも何でもいい。1年間かけて達成したい目標、10年後に有りたい姿を目標として文字にする。1年の目標は達成に向け努力し、10年後の有りたい姿は瞑想と共に具体的に「妄想」する。不思議と人生は成りたい自分に向かって展開していく。

2 「与えられた仕事」に全力を尽くす

人間は弱い。自分の立てた目標などすぐにあきらめる。だからこそ、他人に期待され、与えられた仕事に全力を尽くす。会社の仕事だけではない。町内会の仕事、商工会議所の仕事など、嫌な仕事、苦手な仕事、面倒くさい仕事でも全力を尽くして成果を出す。自分の隠れた才能に気が付き人脈が広がり驚くほど応用力が付いて来る。

3 奉仕する

自分が生きている社会に義務を少しだけ超えて奉仕する。自分より立場の弱い人の為に少しだけ無理をして奉仕する。理屈ではなく行動をする。社会が見えてくる 真の自分が見えてくる。社会のみんなが幸せにならないと自分にも本当の幸せはやってこない。

4 感謝する

私の存在は私以外の総ての存在との関係性で成り立っている。総ての存在に感謝すればいつも謙虚でいられる。いつも他人の幸せを喜べる。

5 祈る

祈りの力は想像以上に強い。瞑想と共に祈ることを習慣にしている。

6 言葉を選ぶ

言葉は自分である。人は言葉で考え、言葉で伝え言葉で動く。よい自分で生き抜くために、言葉を学び言葉を選んで話すよう心掛ける。

7 元気にふるまう

「笑う門には福来たる」。自分が元気であると、元気な人、元気な情報、元気な資金が不思議と集まってくる。元気だから大きな声を出すのではない。大きな声を出す不思議と活力が湧いて来るのだ。

代表 大島 誠